

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	40	学校名	仙台市立新田小学校	校長名	大友 重明
------	----	-----	-----------	-----	-------

1. テーマ 「今、自分たちでできること」



2. 取組の紹介

新田小学校では、委員会ごとにテーマを決め、エコ・スクール活動に取り組んでいます。ボランティア委員会では、「エコキャップ（ペットボトルのキャップ）回収」を計画・実施しました。給食委員会では、「食事についての紹介」「給食の残食チェック」を計画・実施しました。

3. 取組の成果（児童の変容）

[ボランティア委員会]

今年度は、長期休みを除き、毎月エコキャップ回収を行いました。回収を行う前週に、ポスターやテレビ放送で全校児童への呼び掛けを積極的に行いました。呼び掛けの効果もあり、日を追うごとにエコキャップの個数が増えていきました。想定よりも多くのエコキャップを回収することができ、児童は自分たちの活動が成功していると実感できたようでした。

集めたエコキャップを仙台中法人会様に回収していただき、ワクチン購入のためとして、寄付しました。児童たちに委員会で伝えると、「ワクチン何人分になったのですか。」と興味津々に質問していました。より多くのエコキャップを集めるため、回収する曜日やポスターの担当を話し合い、自分たちで意見を出し合いながら、毎月回収に努めました。

1年通じて回収したエコキャップの量を、学年ごとにスライドにまとめました。たくさんの人たちに協力してもらえたことをうれしく感じるとともに、自分たちが実施した活動で人の命を救うことができた実感でき、自分たちが行った活動の意義を感じたようでした。



エコキャップ回収の様子



回収されたエコキャップ

[給食委員会]

今年度は、給食を好き嫌いなくバランスよく食べて給食の残食を減らすための方法を考え、大きく分けて二つの活動に取り組みました。

一つ目は、季節ごとの旬の食材や、暑さ・寒さを乗り越えるための食事について調べ、ポスター掲示やテレビ放送で紹介しました。例えば、苦手とする児童が多い「野菜」について取り上げ、栄養についてまとめ、野菜を食べることの大切さを伝えました。また、冬を乗り切るための工夫として、体を温める食材や風邪を引かないようにするための食事について紹介しました。

二つ目は、残食チェックを実施しました。9月に抜き打ちで残食チェックを行い、学年に合わせて残食を減らすためのアドバイスを考え、放送で伝えました。また、1月に行われた給食週間でも残食チェックを行い、各学年で残しが最も少なかったクラスに賞状を贈りました。全体を通して、9月の抜き打ち残食チェック時よりも大幅に残食が減っていました。9月に1週間毎日残しがあった学級も、1月の残食チェックでは5日間のうち4日間残食がありませんでした。



残食チェックの様子

年間の活動を通して、給食の残食を減らすために自分たちにできることは何かを考えながら実行していく姿が見られました。これからも学校全体で環境について考え、取り組んでいきます。給食への感謝の気持ちを忘れずに、みんなで給食を残さずに食べられるよう全校で励ましていけたらと思います。